

がんでも、最後を家で過ごせるまちづくり

日時

平成18年

2/12(日)

13:00-16:00
(開場12:00)

会場

千葉大学けやき会館

JR総武線西千葉駅、京成みどり台駅
下車徒歩6分
*お車での越しはご遠慮下さい。

内容

●基調講演「家だからこそ、その人らしく
-在宅ホスピスケアの実際-」

もしあなたが、最後の時を誰と、どこで
過ごしたいかと聞かれたらどう答えますか？
いま千葉県では、末期がん患者が痛みを
和らげながら、家族とともに、自宅で最期まで
有意義な日々を過ごせるよう、
「在宅がん緩和ケアネットワーク」を
すすめています。がんでも、最後を家で
過ごせるまちをつくるため、
一緒に考えましょう。



写真提供：バリアン

講師 川越 厚氏 (ホームケアクリニック川越 院長)

1973年東京大学医学部卒業。茨城県立中央病院産婦人科医長、東京大学講師、
白十字診療所在宅ホスピス部長を経て、1994年より6年間、賛育会病院長を務め、退職。
2000年6月、自らのクリニックを開業すると同時に、在宅ケア支援グループ・バリアンを設立。
訪問看護ステーション、ケアマネージメント等のサービスを提供する事業を展開している。
在宅ホスピス協会顧問など、「家で死にたい」、「生と死のはざまで」(保健同人社)など著書多数。

●パネルディスカッション

「在宅がん緩和ケアネットワークについて」

●コーディネータ……大岩孝司(さくさべ坂通り診療所院長)

●パネリスト……菊地紀夫(八日市場市匠匠部医師会、国保八日市場市民総合病院長)

渡邊 敏(千葉県がんセンター緩和医療科部長)

佐野袈裟美(千葉県訪問看護ステーション連絡協議会長)

三輪清子(NPO法人ケアマネージメント研究所ふくろう理事)

金井康行(患者家族)

滝本忠昭(千葉県健康福祉部健康増進課健康づくり推進室主幹)

【定員】……先着200名(事前申込優先)

【対象】……一般県民及び在宅がん緩和ケアに携わる関係者等

【参加費】……無料

【申込方法】……氏名、市町村名、FAX番号、職業(所属)、参加者名、人数を記入の上、ファクスまたはEメールで申し込み
※詳しくはホームページをご覧になるか、お問い合わせください。<http://www.npo-pure.npo-jp.net/>
※手話通訳あり(申込時に手話通訳要とお書き下さい)

【主催】……千葉県、NPO法人 千葉・在宅ケア市民ネットワーク ビュア

【後援】……千葉県医師会、千葉県歯科医師会、千葉県薬剤師会、
千葉県看護協会、千葉県社会福祉協議会、
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会、
千葉県在宅介護支援センター協会、千葉県社会福祉士会、
千葉県医療社会事業協会、千葉県介護支援専門員協議会、
千葉県介護福祉士会、千葉県ホームヘルパー協議会、
千葉ヘルス財団

【協力】……千葉大学公共研究センター

【申込・問合せ先】 NPO法人 千葉・在宅ケア市民ネットワーク ビュア
TEL.070-5554-3734(平日13:00~17:00)
FAX.047-448-7689
E-mail pure@ae2.dion.ne.jp

